

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	丸山孝幸
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3772
<b>事務事業名</b>	4351 農業委員会運営費											
<b>所 属</b>	500100 農業委員会事務局・農業委員会事務局											
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060101 農林水産業費・農業費・農業委員会費										
	<b>事業</b>	040000 農業委員会運営費										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
農業委員会活動の円滑な運営と体制の整備を図り、地域農業の振興に努める。						地域の農業振興と農業経営の安定を図るため、農業振興対策部会、農地対策部会、農業後継者対策部会、情報研修委員会を設置し、現地視察や調査研究活動を実施。また、関係機関との連携や行政への意見の提出等を実施。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
農地パトロールにより遊休農地の実態把握に努め、所使用者の今後の利用や賃借等に関する意向調査を実施し、規模拡大の意向がある農業者とのマッチングを行う。併せて遊休農地解消法のPRのため遊休農地解消モデル事業の実施。また、市長へ意見書の提出した。	農地パトロールにより遊休農地の実態把握に努め、所使用者の今後の利用や賃借等に関する意向調査を実施し、規模拡大の意向がある農業者とのマッチングを行う。併せて遊休農地解消法のPRのため遊休農地解消モデル事業の実施。また、市長へ意見書の提出した。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
農地パトロールにより遊休農地の実態把握に努めるとともに遊休農地所使用者の今後の利用や賃借等に関する意向調査を実施し、規模拡大の意向がある農業者とのマッチングを行う。併せて遊休農地解消法のPRのため遊休農地解消モデル事業を実施する。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		1,281	2,885
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	623	685
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		658	2,200
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,399.9	6,399.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	6,399.9	6,399.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		7,680.9	9,284.9

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	委員研修謝礼0
10節 需用費	161	大豆、そば等用脱粒機修繕料80、消耗品費81
12節 委託費	789	農地台帳データ更新業務委託料789
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	205	須高地区農業委員会協議会負担金200、その負担金5
その他	126	旅費、交際費、役務費、使用料及び賃借料126

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	20	委員研修謝礼20
10節 需用費	121	新任農業委員・最適化推進委員支給品、大豆・そば等用脱粒機修繕料他121
12節 委託費	960	農地利用状況調査支援業務、農地台帳データ更新業務委託料960
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	267	須高地区農業委員会協議会負担金他267
その他	1,517	旅費、交際費、役務費、使用料及び賃借料1,517

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	遊休農地解消等をはじめとする農地施策の推進のため必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	遊休農地の発生防止・解消は市全体の課題である	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	補助制度等の財源確保、コスト削減とも最大限の努力をしている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

(1)農地利用最適化の推進  
 遊休農地の発生防止と解消に向けて、認定農業者を始めとする地域の中核的担い手の確保と新規就農者の確保及び育成、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化の推進が重要になっている。

(2)非農地判断の実施  
 農地利用状況調査により再生利用が困難と判定された農地の非農地判断を行い、守るべき農地を明確にする必要がある。

**ACTION**

**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
農家の高齢化・担い手不足等による農地の遊休化が進む中、農業委員・推進委員の職務である農地利用の最適化の推進（遊休農地解消、農地の集約・集積化推進、新規就農促進）活動が重要であり、引き続き事業を推進する必要がある。	

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
農家の高齢化・担い手不足等による農地の遊休化が進む中、農業委員・推進委員の職務である農地利用の最適化の推進（遊休農地解消、農地の集約・集積化推進、新規就農促進）活動が重要であり、引き続き事業を推進する必要がある。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	中西勇馬
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3412
<b>事務事業名</b>	4155 中山間施設管理事業											
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課											
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060102 農林水産業費・農業費・農業総務費										
	<b>事業</b>	040000 中山間施設管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
中山間地域が活性化するための交流施設の管理を指定管理者に委託する。						中山間地域交流施設を適切に維持管理し、活性化に資することができた。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
豊丘活性化施設、塩野ふれあい広場、米子農村公園、中山間地施設整備事業委託について、指定管理者に委託し、施設の運営を図った。	豊丘活性化施設、塩野ふれあい広場、米子農村公園、中山間地施設整備事業委託について、指定管理者に委託し、施設の運営を図った。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
豊丘活性化施設、塩野ふれあい広場、米子農村公園、中山間地施設整備事業委託について、指定管理者に委託し、施設の運営を図る。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		1,597	1,941
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,597	1,941
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	711.1
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,308.1	2,652.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,524	中山間施設管理 85、指定管理者委託料 1,439
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	73	機器賃借料73

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	444	修繕料 444
12節 委託費	1,424	施設管理委託料85、指定管理者委託料1,339
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	73	機器賃借料 73

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	中山間地農業の活性化に有効な施設	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	中山間地域の活性化を目的に設置された施設である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	使用頻度に大きな変化はない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元の団体が指定管理者となり、管理運営を行っている。来年度以降の利用傾向の変化を注視したい。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
設置当初の目的のとおり地元団体による指定管理での運営継続		地元団体が指定管理者となり、適正に管理運営が行われている。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	横田宏樹
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3412
<b>事務事業名</b>	11707 農業施設整備事業						
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課						
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060102 農林水産業費・農業費・農業総務費					
	<b>事業</b>	050000 農業施設整備事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
農業施設を適正に維持管理することで、農業振興に資する。				田の神揚水機場は昭和53年に建設され30年以上経過しており、施設の劣化が激しく、最近では汲み上げ井戸内部構造の劣化により、内部が崩壊し地下水の汲み上げができなくなる状況にあり、機場の施設の修繕が必要である。 【ヒア補足】 ●田の神揚水施設は地下水の減少への対応。 ※刑務所あたりでの地下水使用が減少要因か。 ●現在より深く掘ることで水位を確保したい。 ●高甫中央畑かんポンプ、送水管入替工事は20年前の入替えからの経年劣化。錆による穴空きを改善。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
田の神揚水施設送水分岐仕切弁修繕工事 田の神揚水施設水位計等修繕工事 田の神揚水施設2号井戸修繕工事 田の神揚水施設地下水調査	田の神揚水施設2号井戸ケーシング修繕工事 田の神揚水施設井戸能力調査
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
田の神揚水施設1号井戸更新のための計画策定 高甫中央水中ポンプ等更新	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		1,787	38,599
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	32,560
一般財源		1,787	6,039
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	711.1
市民一人当たりの経費		0.0	0.8
総額		2,498.1	39,310.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,287	修繕料1,287
12節 委託費	500	委託料500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,300	修繕料1,300
12節 委託費	4,000	委託料4,000
14節 工事請負費	30,000	工事請負費30,000
18節 負担金補助及び交付金	3,299	負担金補助及び交付金3,299
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	農業用用水の確保は農業を営む上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	営農に必要な用水を確保するため、必要最低限の修繕を行い施設の長寿命化を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	必要最低限の修繕を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

設置からの経年により、井戸能力の低下や施設設備が老朽化する中で、安定的な用水確保は必要不可欠となっており、受益者からも施設維持への要望が強い。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
安定的な用水確保は地元との約束事となっており継続的な運用が不可欠		営農継続のための必要な農業施設である。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	横田宏樹
		全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	4158 農業振興対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	06012800 農業の活性化												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費											
	事業	010000 農業振興対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
各種農業振興事業を実施し、農業の維持発展を図る。						新型コロナウイルス感染症の影響により、市場価格が下落しても安定的な農業経営ができるように収入保険への支援を行う。							

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など	①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	支援制度を利用した耕作放棄地解消面積				
算式	57.5ha（現状値）+年5ha×5年【累計】				単位 ha
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	65.8	70	74.1	78.3
	実績				82.5
指標選定の理由	農業従事者の高齢化、担い手の不足、有害鳥獣による農作物被害等による耕作放棄地の拡大を防止する。				
最終年度目標の根拠	2019年度の解消面積57.5haを基準とし、2021年度以降毎年約4.16haの解消を目指す。				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		55,983	59,799
特定財源	国庫支出金	0	100
	都道府県支出金	31,615	38,023
	地方債	0	0
	その他	107	30
一般財源		24,261	21,646
人員数(人)	正規職員	1.4	1.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人員コスト	正規職員	9,955.4	10,666.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,232.8	1,232.8
	計	11,188.2	11,899.3
市民一人当たりの経費		1.3	1.4
総額		67,171.2	71,698.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	59	燃料費59
12節 委託費	143	委託料143
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	53,122	負担金2,219 補助金9,481 交付金41,422
その他	2,659	報酬1,914 職員手当等319 共済費334 旅費26 償還金66

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	85	燃料費85
12節 委託費	200	委託料200
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	56,701	負担金2,182 補助金5,150 交付金49,369
その他	2,813	報酬1,996 職員手当等407 共済費383 旅費27

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	農業振興を行う上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	補助金、交付金は各活動の後押しとなっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国、県などの補助事業を積極的に活用し財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

国庫補助等を活用し、補助金の交付を中心に各関係団体や活動組織の活動を支援している。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農業振興を図る上で不可欠な事業。 財源は国県の補助事業をできるだけ活用している。</p>		<p>各種制度等の活用により農業振興を図るための必要不可欠な事業である。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	石澤由祐
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3415
<b>事務事業名</b>	4160 鳥獣被害防止対策事業						
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課						
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	<b>事業</b>	020000 鳥獣被害防止対策事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
地域、集落の現状と出没鳥獣の全体を把握し、最も有効な手立て（電気柵、わな、檻、緩衝帯整備など）を検討し、鳥獣被害を最小限に留め、農業者の営農意欲の持続に勤める。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・サル・イノシシ用の電気柵・防護柵購入、維持管理</li> <li>・緩衝帯整備に関する事業</li> <li>・有害鳥獣駆除業務</li> </ul> <p>【ヒア補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気柵の設置（原材料費）は井上地区の協議が整わないため、2022年度は仁礼地区を行う。</li> <li>●狩猟免許については取得を希望する者が見込まれることから増額対応する。（会員数は概ね横ばい。）</li> <li>●鳥獣被害対策の基本は侵入対策、捕獲、呼び寄せない工夫の3点になる。地道に継続して実施していく。</li> </ul>			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
電気柵 1.69km 緩衝帯整備 0.6ha	電気柵 1km 緩衝帯整備 1ha
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
電気柵 0.6km 緩衝帯整備 1.5ha	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		17,447	20,495
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	539	1,230
	地方債	0	0
	その他	380	380
一般財源		16,528	18,885
人員数(人)	正規職員	0.9	0.6
	会計年度(フル)	0.9	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.8
人員コスト	正規職員	6,399.9	4,266.6
	会計年度(フル)	2,965.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	1,232.8
	計	9,365.4	5,499.4
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		26,812.4	25,994.4

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,040	有害鳥獣駆除報奨金2,040
10節 需用費	432	野ねずみ駆除実施薬剤422 ほか
12節 委託費	2,098	猟友会有害鳥獣駆除委託2,098
14節 工事請負費	2,497	電気柵設置工事1,001 電気柵監視システム設置工事1,496
18節 負担金補助及び交付金	2,284	須坂市有害鳥獣駆除対策協議会負担金2,216 狩猟免許取得奨励補助金・猟友会補助金68
その他	8,096	電気柵材料費5,856ほか

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,000	有害鳥獣駆除報奨金3,000
10節 需用費	510	野ねずみ駆除実施薬剤432ほか
12節 委託費	1,600	猟友会有害鳥獣駆除委託1,600
14節 工事請負費	2,700	電気柵設置工事1,700 電気柵監視システム設置工事1,000
18節 負担金補助及び交付金	2,620	須坂市有害鳥獣駆除対策協議会負担金2,500 狩猟免許取得奨励補助金70、猟友会補助金50
その他	10,065	電気柵材料費7,500ほか

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市民の財産、生命を守る事業。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	鳥獣被害を最小限に留め、農業者の営農意欲の持続を努める。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	地域、集落の現状と出没鳥獣の全体を把握し、最も有効な手立てを実施。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

猟友会にも協力をいただき地域と協働で効率的な対策を実施した。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農地だけでなく市全体の安心安全な住環境の維持につながっている事業。 設置地域住民の負担をどう軽減していくかが課題。 多様な人がかかわっていけるような体制が理想。</p>		<p>市街地も含めた市民の生命・財産を守るため、猟友会にも協力いただく中で、地域と協働で効果的な対策を進めていく必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	中村祐也
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3412
<b>事務事業名</b>	4161 農業後継者対策事業											
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課											
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	<b>事業</b>	030000 農業後継者対策事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
農業従事者の高齢化、後継者不足の状況の中、多様な担い手の確保・育成し、支援していく。 【ヒア補足】 ●2022の修繕料は二睦町の作業場。（電気、壁） ●樹園地貸付 R2…6件、R3…10件。増加傾向。						自分で農地を持って農業経営を開始した青年農業者への支援として、農業次世代人材投資資金 経営開始型（旧 青年就農給付金）を給付する。給付金は、収入が不安定な経営開始後の所得を確保するものとして、1人当たり年間150万円（夫婦型は225万円）を最長5年間給付する。 研修期間中の者には、県から農業次世代人材投資資金（準備型）が支給される。 どちらの給付金も国からの補助金が財源であるが、そのほかに市独自の支援を行い、新規就農者を確保する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の農業次世代人材投資資金準備型受給者には月1万5千円）を24名に給付 2 農業次世代人材投資資金 経営開始型（旧 青年就農給付金）を15組に給付	1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の農業次世代人材投資資金準備型受給者には月1万5千円）を24名に給付 2 農業次世代人材投資資金 経営開始型（旧 青年就農給付金）を16組に給付
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の農業次世代人材投資資金準備型受給者には月1万5千円）を26名に給付予定 2 農業次世代人材投資資金 経営開始型（旧 青年就農給付金）を13組に給付予定	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	1年目の新規就農研修給付金給付者数				
算式	年間10人×5年間+現状値(57人)				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	67	77	87	97
	実績	72			107
指標選定の理由	後継者不足の中、新規就農者を確保する必要があり、研修を開始する者の数(累計)を指標とした。				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		42,770	49,156
特定財源	国庫支出金	0	400
	都道府県支出金	25,814	27,250
	地方債	0	0
	その他	4,173	15,310
一般財源		12,783	6,196
人員数(人)	正規職員	0.8	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,688.8	4,266.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,688.8	4,266.6
市民一人当たりの経費		0.9	1.0
総額		48,458.8	53,422.6

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	162	光熱水費162
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	42,492	負担金800 補助金41,692
その他	116	役務費42 土地借上料74

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	848	消耗品費45 光熱水費303 修繕費500
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	48,160	負担金800 補助金47,360
その他	148	役務費43 土地借上料105

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	農業の担い手不足、高齢化が問題となっており、後継者確保が急務となっているため、必要性が高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	国の事業を活用しながら、農業の担い手確保に貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国の交付金を活用しており、財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

農業者の高齢化が進む中で担い手を確保する必要があり、事業を実施することで新規就農者確保につながっている。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

農業の担い手確保は、人口減少、遊休農地解消、移住の促進やコミュニティーの維持など市全体の課題に対し多大な影響を与えている。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

新規就農者を育成することは、農業の担い手不足の解消や農業の振興、移住の促進、地域コミュニティーの維持など必要不可欠な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中村 祐也
	全体計画			経費区分	-	内線	3412
事務事業名	4162 農業経営基盤強化対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	06012800 農業の活性化						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	事業	040000 農業経営基盤強化対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域の中心的な農業者である認定農業者を支援し、農業活性化すること				農業者の経営を安定させるため農地集積や研修を支援している。 農業者の大規模化や経営安定に効果がある。 国の補助制度を活用して担い手確保の観点から農業用機械施設導入を支援した。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
認定農業者 126人	認定農業者 130人 担い手確保・経営強化支援事業補助金による支援
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
認定農業者 130人	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	認定農業者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	130	130	130	130	130	
	実績	130					
指標選定の理由	地域の担い手として重要な役割を果たす認定農業者の数を指標とした。						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		2,741	3,118
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	14,517	0
	地方債	0	0
	その他	100	478
一般財源		△11,876	2,640
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.6	0.6
人員コスト	正規職員	3,555.5	3,555.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	924.6	924.6
	計	4,480.1	4,480.1
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,221.1	7,598.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	25	消耗品費25
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,716	報酬1,914 職員手当等319 共済費354 旅費27 役務費102

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	119	消耗品費119
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	14	負担金14
その他	2,985	報酬1,996 職員手当等407 共済費404 旅費46 役務費132

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	農業者の経営を安定させるため農地集積の推進や、農業者の大規模化や経営安定に向け支援を実施する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	農地中間管理機構を活用し、農地集積を進めることができている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国の補助事業を活用しながら、財源確保に努めている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

中間管理機構を通じた農地の貸し借りが進んでいる。  
 今後、高齢化が進む中で離農者が増えることが予想されることから、離農者の情報収集などにより更なる農地集積が必要である。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
農業委員会事務と被る部分が多い市民サービスの観点から事務の統合を検討		農地の集積化や大規模化は、農業者の経営安定に有効な事業である。	

## 外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	中西勇馬
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3412
<b>事務事業名</b>	4163 遊休農地解消対策事業						
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課						
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	<b>事業</b>	050000 遊休農地解消対策事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
農業者の高齢化等による減少や、鳥獣害等により増加している遊休農地の解消及び拡大防止を図る。				補助金を交付し、遊休農地の解消、拡大防止を図る。  中山間地域において集落協定を結び、農地の維持を図る。  【ヒア補足】 ●遊休農地解消対策事業補助金の現時点での実績は150万円程。R3の決算見込は260万円程になる見込み。エリアを限定しておらず、遊休農地が増えている現状からも現行予算額を維持して進めていきたい。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
遊休農地解消面積 26,360㎡ 中山間集落協定面積 247,337㎡	遊休農地解消面積 32,064㎡ 中山間集落協定面積 247,337㎡
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
遊休農地解消面積 50,000㎡ 中山間集落協定面積 247,337㎡	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	支援制度を活用した耕作放棄地解消面積						
算式	57.5ha（現状値）+年4.16ha×6年【累計】					単位	ha
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	65.8	70	74.1	78.3	82.5	
	実績	63.3					
指標選定の理由	農業従事者の高齢化、担い手の不足、有害鳥獣による農作物被害等による耕作放棄地の拡大を防止する。						
最終年度目標の根拠	2019年度の解消面積57.5haを基準とし、2021年度以降毎年約4.16haの解消を目指す。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		7,698	8,905
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	3,851	3,899
	地方債	0	0
	その他	1,168	3,000
一般財源		2,679	2,006
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,133.3	2,133.3
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,831.3	11,038.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11	消耗品9、燃料費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	7,682	負担金200 補助金2,355 交付金5,127
その他	5	通信運搬費(郵便料)5

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11	消耗品費9、燃料費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8,889	負担金200 補助金3,500 交付金5,189
その他	5	通信運搬費（郵便料）5

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	遊休農地の解消は農業振興を図るうえで不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	補助金の後押しにより事業に取り組む意欲が出ている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	財源確保の余地は少ない	

振り返り（決算年度の取組み課題）

遊休農地の解消は農業振興を図るうえで不可欠な事業であることから、今後も状況を注視していく。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

市単独ではなく農業委員会と協働で取り組んだほうが有効性がある。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

遊休農地の解消と耕作放棄地の拡大防止に有効な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	塩崎智一
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3414
<b>事務事業名</b>	4164 産地ブランド推進事業											
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課											
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	<b>事業</b>	060000 産地ブランド推進事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
須坂産農産物のブランドイメージの向上、新たな農産物のブランド化が求められているほか、グリーンツーリズムなど新たな農業の展開を想定した取組みが必要。						振興果樹の生産拡大による産地ブランドの構築、体験型農業をはじめとしたグリーンツーリズム・地産地消等の推進もって、ブランド化がすすむ。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
新農業創生活動事業補助 3団体 300千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 317人	新農業創生活動事業補助 4団体 395千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 53人
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
新農業創生活動事業補助 4団体 400千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 100人	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	グリーンツーリズム体験プログラム参加人数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	53	100				
	実績						
指標選定の理由	農業と観光が連携することで、体験交流型農業の推進を図る。						
最終年度目標の根拠	106人（H28）の参加者を目標に維持をしていく。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		13,187	7,916
特定財源	国庫支出金	0	1,250
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	40	40
一般財源		13,147	6,626
人員数(人)	正規職員	1.2	1.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.7	0.7
人員コスト	正規職員	8,533.2	9,244.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,078.7	1,078.7
	計	9,611.9	10,323.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		22,798.9	18,239.0

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	528	消耗品109、印刷製本費419
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,700	農業創生活動補助金(4団体)395 園芸産地育成振興対策事業補助金1,500 ほか
その他	1,959	役務費、備品購入費ほか

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	6	謝礼6
10節 需用費	304	消耗品費76、食糧費10、印刷製本費218
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	4,890	新農業創生活動補助金400 園芸産地育成振興対策補助金1,500 ほか
その他	2,716	旅費373、役務費75 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	生産者だけでは補えない部分について、行政も一緒になってPRするとより効果的。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	ふるさと納税寄付額も果物を中心に年々増加傾向となっており、少しずつ事業の成果が表れてきている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	果物のパンフレット作成時は、農家広告枠を設け財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた事業が実施できなかったため、コロナ禍でも対応が可能な情報発信等に力をいれる必要があった。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

農作物のブランド化は農業振興を図る上で非常に重要

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

須坂産果物のブランドイメージの向上は、ふるさと納税寄附額の増加にも繋がっており有効な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業		<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 経費区分	<input type="checkbox"/> 担当者 <input type="checkbox"/> 内線	石澤由祐 3415
全体計画				-			
事務事業名	4165 畜産総合対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	06012800 農業の活性化						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費					
	事業	010000 畜産総合対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。				ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
そのさと有機センター施設設備の点検及び攪拌装置修繕	そのさと有機センター施設設備の点検
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
須高家畜防疫協議会と連携し、家畜の予防注射の実施 そのさと有機センターの設備点検及び進入路の修繕	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		4,253	4,175
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,253	4,175
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	308.2	308.2
	計	3,152.6	3,152.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,405.6	7,327.6

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	578	消耗品11 修繕料567
12節 委託費	1,309	機械設備保守点検委託料1,309
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,921	負担金1,921
その他	445	土地借上料445

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,649	消耗品149 修繕料1,500
12節 委託費	165	委託料165
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,917	負担金1,917
その他	444	土地借上料444

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	畜産農家を守るため、家畜伝染病を発生させないための事業。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を減少させるように努める。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	各関係機関と連携し、現状を把握し、最も有効な手立てを実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
各関係機関と連携し、市内において家畜伝染病の発生を防ぐことができた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

畜産農家支援を図る上で重要

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

家畜伝染病の防止や公害防止に有効な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山崎智美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3519
<b>事務事業名</b>	4193 農道改良事業											
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	<b>事業</b>	010000 農道改良事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
市の農業は果樹を主体としており、農作業の合理化・機会化と共に、集出荷時の荷傷み防止のため農道改良は重要であり、陳情も多く受けている。						農道整備は、農作業の合理化（荒廃農地防止含む）と共に集出荷時の荷傷み防止のため重要である。農道整備を推進し、農家の経営合理化の促進を図る。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
上八町内農道整備工事	村山堤外地農道整備工事
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
市内農道整備工事	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		968	6,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	1,904	0
	その他	0	0
一般財源		△936	6,000
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	1,422.2
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		1,679.1	7,422.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	968	農道整備工事968
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,000	測量設計業務2,000
14節 工事請負費	4,000	農道整備4,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	8月13日の大雨での千曲川増水によって堤外地農道に土砂が堆積したため早急に対応する必要があった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	耕作地の早期復旧が図られた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	災害事業債を利用できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
要望箇所すべて対応できた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

要望が多い中、緊急性等考慮し整備を行う。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

生産性向上、農業経営の合理化等を図るため農業生産基盤としての整備を進める。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	植木浩司
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3517
<b>事務事業名</b>	4195 水路改修事業						
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費					
	<b>事業</b>	020000 水路改修事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
水田から果樹への転換が進み、果樹の根腐れ防止のため排水の悪い水路の改良を求める陳情や降雨時の浸水地域予防の陳情がきている。このため、水路改修により農業生産基盤の向上と収入の安定を図る。				老朽水路の更新により漏水冠水を改善する。 また、近年のゲリラ豪雨による増水、氾濫等を改善する。  【ヒア補足】 ●R4は境沢地区中堰（旧屋代線の西側水路）を大規模に予定。地区の泥上げをやっている中で各種要望がされ、小区間ごと施工してきたが、一度にやったほうが効率的と判断。 ●下八町も要望多く、起債を活用して一度に実施。 ●他の箇所は主に要望用予算。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
仁礼町、境沢町・小河原町側溝改修	仁礼町、境沢町・小河原町側溝改修
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
境沢町・九反田町・小河原町・高甫地区側溝改修	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		10,615	55,150
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	19,200
	地方債	0	25,600
	その他	0	0
一般財源		10,615	10,350
人員数(人)	正規職員	0.6	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,266.6	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,266.6	1,422.2
市民一人当たりの経費		0.3	1.1
総額		14,881.6	56,572.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,871	測量委託業務費2,871
14節 工事請負費	7,744	改修・修繕工事費7,744
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	5,000	測量委託業務費5,000
14節 工事請負費	50,000	改修・修繕工事費50,000
18節 負担金補助及び交付金	150	県土地改良連合会賦課金150
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	近年のゲリラ豪雨等による側溝等の増水、氾濫による防災が図られ、安定した農業用水の確保にもつながる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	地元の要望により、緊急性・必要性を考慮し、優先順位により改善	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	現地調査した上で、効率よく、より経済的な整備に努める	

振り返り（決算年度の取組み課題）
地元からの要望が多く、現場をよく精査した上で、緊急性の高いところから適正に改修を進めている

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

緊急性等考慮し、改修等行う必要がある。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

修繕・改修要望が多いことから、現場状況を確認、優先順位を決め計画的に実施する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	植木浩司・山崎智美
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3517・3518
<b>事務事業名</b>	4196 農道・水路補修事業						
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費					
	<b>事業</b>	030000 農道・水路補修事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路補修・修繕ならびに施設の利用効果の発揮を図る。</li> <li>・農道台帳の作成により状況を的確に把握し適正な農道の管理及び改良に資する。</li> </ul>				<p>農道・水路の補修・修繕を実施することで農業生産基盤の向上を図り、須坂市の農業振興につなげる。</p> <p>【ヒア補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●城が鼻用水は福寿荘の水車付近から境沢へ向かって住宅地を通り抜ける水路。県看護学校辺りで樹木の根などが詰まり、流れが悪くなっている様子。R3予算で対応している。改善すればR4以降の事業費を精査する必要がある。</li> <li>●塩野用水は全体的に水路が老朽化。</li> <li>●小島用水は水路の土砂堆積が見られる。</li> </ul>			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
土地改良施設インフラ長寿命化計画策定業務 農業水利施設情報整備・共有化対策業務 農業水路等長寿命化防災減災事業小島地区転落防止	土地改良施設インフラ長寿命化計画策定業務 農業水路等長寿命化防災減災事業小島地区転落防止 旧百々川浚渫工事・古川浚渫工事
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
城が鼻水路浚渫工事 塩野町用水修繕工事	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		13,217	4,050
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	4,321	0
	地方債	500	0
	その他	0	0
一般財源		8,396	4,050
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	2,133.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	2,133.3
市民一人当たりの経費		0.3	0.1
総額		13,928.1	6,183.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	9,315	測量設計業務委託費9,284、台帳補正31
14節 工事請負費	3,003	小島地区転落防止柵設置工事1,254、河川浚渫工事1,749
18節 負担金補助及び交付金	899	土地改良施設維持管理適正化事業費拠出金780、賦課金119
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	50	農道台帳補正委託料50
14節 工事請負費	4,000	河川浚渫工事4,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	土地改良施設の改修により、農業用水の安定的な確保につながり、農業生産基盤の向上が図られる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	地元の要望により、緊急性・必要性を考慮し、優先順位により改善	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	土地改良施設の改修等については、土地改良施設維持管理適正化事業を有効に活用し、コスト削減を図る	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

地元の要望、防災等の事業を中心に、予定通り進めている

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

緊急性等考慮し、長寿命化も含め補修対応を行う。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

修繕・改修要望が多いことから、現場状況を確認、優先順位を決め計画的に実施する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山崎智美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3519
<b>事務事業名</b>	4197 基盤整備促進事業											
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
<b>施 策</b>	06012800 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	<b>事業</b>	040000 基盤整備促進事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
農地中間管理機構による地域内（受益地内）の担い手への農地集積の推進に向けた取組。						本事業により農業用排水路を改修し用水の安定供給と営農の効率化を図る。これにより、事業実施区域において農地中間管理事業を活用し農地の賃貸借面積の拡大をすすめていく。						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
仁礼地区	仁礼地区
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
仁礼地区	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		77,106	7,200
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	53,038	0
	地方債	14,500	0
	その他	0	0
一般財源		9,568	7,200
人員数(人)	正規職員	0.3	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	5,688.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,133.3	5,688.8
市民一人当たりの経費		1.5	0.2
総額		79,239.3	12,888.8

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	5,467	設計業務委託5,467
14節 工事請負費	35,800	農道整備工事35,800
18節 負担金補助及び交付金	200	県土地改良連合会賦課金200
その他	35,639	上下水道補償費 35,639

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,000	測量設計業務 1,000
14節 工事請負費	5,000	用排水路新設改良工事 5,000
18節 負担金補助及び交付金	200	土地改良連合会賦課金200
その他	1,000	立木等補償料1,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	事業により老朽化した用排水路を改修し大雨時の溢水を防ぎ用水の安定供給と営農の効率化を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	取水構造の改善や漏水や溢水による耕作地への被害を防ぎ、用水の安定供給と営農の効率化を図ることができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	長年の地元要望を補助金を使って早期改良を可能にした。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

農業用水の利用時期や他工事との調整が必要な場所のため、今後の工事でも対応が必要。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>老朽化した水路改修を早期に行い、用水の安定供給により 事業実施区域の営農の効率化と集積を拡大していく必要がある。</p>		<p>生産性向上、農業経営の合理化等を図るため農業生産基盤としての整備を進める。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4151 市有林維持管理事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	06012900 森林の保全・活用											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	020107 総務費・総務管理費・市有林管理費										
	事業	010000 市有林維持管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
市有林の適切な維持管理						市有林を適切に維持管理することにより、森林の多面的機能を発揮できる。 適切な市有林の維持管理として、更新伐、搬出間伐、切捨間伐、作業道開設、更新伐後の再造林に向けての地拵えを実施する。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
市有林の除間伐 搬出間伐7.96ha、作業道開設 392.8m	市有林除間伐 搬出間伐7.5ha、作業道開設200m
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
市有林除間伐 更新伐3ha、搬出間伐4ha、作業道開設300m、 切捨間伐2ha、地拵え3ha	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		4,535	12,663
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,660	5,470
	地方債	0	0
	その他	111	7,193
一般財源		1,764	0
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,751.7	1,751.7
市民一人当たりの経費		0.1	0.3
総額		6,286.7	14,414.7

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	4,092	市有林除間伐事業(搬出間伐、作業道開設)4,092
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	44	長野森林組合賦課金44
その他	399	森林保険料399

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	12,265	市有林除間伐事業（搬出間伐、作業道開設）12,265
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	44	長野森林組合賦課金44
その他	354	森林保険料354

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	須坂市が適切な維持管理することにより、森林の多面的機能を発揮する市有林施設。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	森林の多面的機能を発揮。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	適切な維持管理の継続。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

適切な市有林の維持管理として、更新伐、搬出間伐、切捨間伐等を実施。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
市有林の整備は必要不可欠		市有林の維持管理により、森林の多面的機能が発揮され市民生活に様々な恩恵をもたらす。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	波岸康幸
	全体計画			経費区分	-	内線	3416
事務事業名	4169 林業振興対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	06012900 森林の保全・活用						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費					
	事業	010000 林業振興対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
森林のもつ多面的機能を強化するため、森林の整備・作業道等の開設を行い、間伐材の搬出を促進する。また、森林づくり推進支援金を活用して、県産間伐材製品の設置により、県産材の利用推進と森林整備の必要性の啓発を行う。				林業振興に対し、森林のもつ多面的機能の維持と保全と共生が図られる。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
意向調査事前準備事業委託 遊歩道路面水切工設置 3m 5か所 間伐材背もたれ式ベンチ8台 林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 坂田山共生の森作業道復旧工事 ほか	意向調査事前準備事業委託 遊歩道路面水切工設置 3m 6か所 間伐材背もたれ式ベンチ8台 林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 坂田山共生の森作業道復旧工事 ほか
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
意向調査事前準備事業委託 意識調査のための林分調査等事業委託 遊歩道路面水切工設置 3m 6か所 間伐材背もたれ式ベンチ6台 坂田山共生の森作業道復旧工事 ほか	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		6,627	9,131
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	896	987
	地方債	0	0
	その他	14	1
一般財源		5,717	8,143
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.7	0.7
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,555.5	3,555.5
	会計年度(フル)	2,306.5	2,306.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,862.0	5,862.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		12,489.0	14,993.0

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	305	消耗品250、燃料費55、
12節 委託費	4,078	坂田山共生の森業務委託料130、草刈等委託752、林地台帳森林情報システム保守委託330、意向調査事業業務委託2,382、その他484
14節 工事請負費	404	遊歩道路面水切工404
18節 負担金補助及び交付金	296	県治山林道協会負担金1、県治山林道協会賦課金206、その他89
その他	1,544	報酬1440、旅費5、役務費90、積立金4、公課費5

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	468	消耗品318、燃料費75、印刷製本費10、修繕費65
12節 委託費	4,475	坂田山共生の森業務委託料130、草刈等委託770、林地台帳システム保守業務330、意向調査事前準備委託2,750、森林病虫害等防除事業委託料495
14節 工事請負費	2,050	遊歩道路面水切工設置2,050
18節 負担金補助及び交付金	654	県治山林道協会負担金1、県治山林道協会賦課金386、その他267
その他	1,484	報酬1,440、旅費11、役務費31、使用料及び賃借料1

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	森林のもつ多面的機能の維持と保全と共生	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	森林経営管理制度による私有林の整備	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	県産材の利用促進により森林整備の啓発を実施	

振り返り（決算年度の取組み課題）

森林経営管理制度による森林整備の促進

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
山林は防災、水資源の涵養、温暖化防止など多くの機能があり保全振興は重要		森林経営管理制度による森林整備を計画的に進める。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
	全体計画			経費区分	-	内線	3416
事務事業名	4170 松くい虫防除対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	06012900 森林の保全・活用						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費					
	事業	020000 松くい虫防除対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
松林に甚大な被害を与えるマツノザイセンチュウの媒介であるマツノマダラカミキリの発生防止のため、薬剤散布及び被害木の駆除を行う。				赤松は臥竜山などの積悪な土壌にも育成し、土砂の流出防止、崩壊防止等山林の保全に重要な役割を果たしている。被害防止の充実に図ることにより、森林の公益的機能を維持、保全する。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
松くい虫被害木伐倒駆除事業 490m <sup>3</sup> 570本 地上薬剤散布事業 18.36ha	松くい虫被害木伐倒駆除事業 459m <sup>3</sup> 497本 地上薬剤散布事業 18.36ha
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
松くい虫被害木伐倒駆除事業 449m <sup>3</sup> 486本 地上薬剤散布事業 18.36ha	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		15,681	18,020
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	8,321	8,558
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,360	9,462
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	659.0	659.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,503.4	3,503.4
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		19,184.4	21,523.4

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	15,681	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除15,681
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	18,000	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除18,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	20	松くい虫防除事業補助金（文化財等）20
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	悪質な土壌にも育成する赤松は山林の保全に重要な役割を果たしている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	地上薬剤散布、被害木伐倒駆除の実施。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	被害防止の充実を図ることにより、森林の公益的機能を維持、保全する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

被害木の把握に勤め早期の伐採駆除を実施。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
蔓延防止、景観維持など市民要望も強く、必要不可欠		継続した早期の伐倒駆除が必要である。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4171 市単治山事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	06012900 森林の保全・活用											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	030000 市単治山事業										
事業目的						事業概要・効果						
災害等による保安林以外の森林の被害を最少限にくい止める						保安林以外の民有林等の自然災害に対する予防治山と被災箇所の復旧治山を早期に保全することにより、森林の公益的機能を発揮できる。						

**PLAN-DO**

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
坂田山遊歩道丸太柵設置工事 3段 L=16m	坂田山遊歩道丸太柵設置工事 3段 L=16m
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
坂田山遊歩道丸太柵設置工事 3段 L=16m	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		500	500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		500	500
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,751.7	1,751.7
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		2,251.7	2,251.7

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	500	坂田山共生の森遊歩道丸太柵設置工事500
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	500	坂田山共生の森遊歩道丸太柵設置工事500
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	保安林以外の民有林等の自然災害に対する予防治山により森林の公益的機能を発揮する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	保安林以外の民有林等の自然災害の被害箇所を早期に保全する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	災害等による保安林以外の森林の災害を再上限に食い止める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
災害防止のため、必要な個所の予防治山。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
防災上の治山事業は必要不可欠		災害防止のため、必要な箇所には予防治山を行う必要がある。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	波岸康幸
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3416
<b>事務事業名</b>	4172 間伐対策事業											
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課											
<b>施 策</b>	06012900 森林の保全・活用											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	<b>事業</b>	040000 間伐対策事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、除間伐を適正に行い、健全な森林を育成する。						除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。森林所有者を支援することにより、水源の涵養、山地災害の防止が図れる。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
間伐対策事業補助金 52.29ha	間伐対策事業補助金 54ha
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
間伐対策事業補助金 52ha	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	間伐整備の実施面積				
算式	累計実施面積				単位 ha
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	計画的に間伐を実施し、森林の持つ公益的機能を維持する。				
最終年度目標の根拠	累計1190.44ha（2020年度末）の間伐面積だが、年間平均45haとし、最終目標1400haとした。				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		1,791	2,005
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,791	2,005
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,462.8	2,462.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,253.8	4,467.8

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	14	消耗費14
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,778	間伐対策事業補助金1,778
その他	△1	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5	消耗品5
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	間伐対策事業補助金2,000
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	除間伐を適切に行い、健全な森林を造成する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	森林所有者を支援することにより、水源の涵養、山地災害の防止を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	水源の涵養、山地災害の防止。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
災害防止や水資源涵養のため、健全な森林の育成。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
防災面からも森林の維持保全は重要		災害防止や水資源涵養のため、健全な森林の育成は必要不可欠である。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山崎智美
	全体計画			経費区分	-	内線	3519
事務事業名	4200 林道管理事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06012900 森林の保全・活用						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費					
	事業	050000 林道管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
林道を維持修繕することにより、森林整備に資する。				須坂市森林整備計画に沿った基幹路網の維持修繕を行い効率的な森林施行を促す。 アクセス道路として機能している林道の維持管理を継続的に行う。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
林道大古場線外路面整備工事 大谷不動線草刈り業務委託ほか	林道米子不動線法面保護工事 各林道維持管理工事 大谷不動線草刈り業務委託
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
林道米子不動線改良工事 林道米子橋橋梁補修工事 各林道維持管理工事 大谷不動線草刈り業務委託	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		23,249	84,671
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,638	31,620
	地方債	2,500	27,300
	その他	0	0
一般財源		18,111	25,751
人員数(人)	正規職員	0.3	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,133.3	6,399.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,133.3	6,399.9
市民一人当たりの経費		0.5	1.7
総額		25,382.3	91,070.9

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	66	消耗品19、燃料費47
12節 委託費	7,689	草刈払外1,087、測量設計業務委託6,601
14節 工事請負費	15,491	法面整備工事外15,491
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3	土地借上料3

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	68	消耗品19、燃料費47
12節 委託費	8,600	草刈払1,100、測量設計業務委託7,500
14節 工事請負費	76,000	修繕14,000(国補)米子不動線改良工事30,000橋梁補修32,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3	土地借上料3

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	森林整備と観光アクセスの機能を有する林道を安全に通行できることが林産業や観光事業の安定につながる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	森林整備の作業性の向上。 通行車両の安全確保。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	事業計画を立て、補助金を利用しての改良工事ができた。	

## 振り返り(決算年度の取組み課題)

継続事業については災害によって中断していたものを復活させた。繰越となったが事業計画期間内に完了させる。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

観光路線を担う林道などあり、安全性向上のための整備が必要である。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

森林の保全に必要な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	原 和嘉
	全体計画			経費区分	-	内線	3423
事務事業名	4180 工業振興事業						
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課						
施 策	06013000 強みを活かした新産業の創出						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費					
	事業	010000 工業振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
<p>○工業団地等内の企業及びその従業員の働きやすい環境と良好な景観の維持を目的とする。</p> <p>○市内中小企業の優れた工業製品の展示会等出展に対し支援を行うことで、新たな取引先や市場開拓、販路拡大に繋げることを目的とする。</p>				<p>○工業団地等の緑地及び公園の除草、病害虫防除、支障木伐採、清掃業務などを年間を通し計画的に実施をした。その結果、働きやすい環境と良好な景観を維持することができた。</p> <p>○産業フェアなどの展示会、見本市等に自社の製品や技術力に関する出展を行う際の経費（展示場の小間代、展示小間の装飾費、販売促進資料など）の一部を助成し支援をした。その結果、受注の機会に繋がっている。</p>			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<p>○工業団地等の緑地及び公園の除草、病害虫防除、支障木伐採、清掃業務、調整池設備点検等の実施</p> <p>○各団地の組合等の団体(松川会、旭豊会、横松原、インター組合)との調整を行った。</p>	<p>○工業団地等の緑地及び公園の除草、病害虫防除、支障木伐採、清掃業務、調整池設備点検等の実施</p> <p>○各団地の組合等の団体(松川会、旭豊会、横松原、インター組合等)との調整を行った。</p>
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<p>○工業団地等の緑地及び公園の除草、病害虫防除、支障木伐採、清掃業務、調整池設備点検等の実施</p> <p>○各団地の組合等の団体(松川会、旭豊会、横松原、インター組合等)との調整を行う。</p>	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	工業製品等の展示会に出展する受注開拓事業				
算式	受注開拓事業補助金の交付件数（企業数）				単位 件
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	7	7		
	実績	2			
指標選定の理由	市内中小企業の技術力や新製品を出展していただくことで、新たなビジネスチャンスに繋げることができるため				
最終年度目標の根拠	工業団地組合等の会議において市補助制度について紹介してきた結果、認知度が高まってきてはいるが、コロナ禍もあり、展示会そのものが開催が少なく実績数が伸びなかった				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		16,117	18,270
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	7,122	7,066
一般財源		8,995	11,204
人員数(人)	正規職員	0.7	0.9
	会計年度(フル)	0.3	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.3
人員コスト	正規職員	4,977.7	6,399.9
	会計年度(フル)	988.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	462.3
	計	5,966.2	6,862.2
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		22,083.2	25,132.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	38	米子鉱山跡地 緑化維持謝礼(米子区) 38
10節 需用費	839	消耗品費397、燃料費43、光熱費357、修繕料326 他
12節 委託費	4,591	調整池設備点検55、事務機器保守点検272、支障木伐採等1,500、シルバー委託(除草、清掃) 2,184他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	375	受注開拓事業565、商工業振興対策事業補助金172他
その他	10,274	土地借上料6,950、通信運搬費351他、

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	50	謝礼50
10節 需用費	826	消耗品費326、燃料費76、光熱水費384、修繕料30 他
12節 委託費	5,523	調整池設備点検委託料750、事務機器保守点検委託料343、病害虫防除委託料115、シルバー除草等業務委託料2,000、支障木伐採委託料1,500 他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	983	受注開拓事業補助金700、商工業振興対策事業補助金200 他
その他	10,888	旅費5、役務費462、土地借上料6,863 他

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	工業団地の環境整備は、その工業団地内の企業及び従業員にとって快適に事業を実施するにあたり必要な事業である。また工業団地周辺に居住する住民にとっても、安心して暮らすためには必要な事業である。引き続き企業が安心して操業できるよう、また近隣住民からの苦情がおきないように努めていきたい。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	苦情の件数は減っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	修繕業務等は、予測できない部分が多く、ある程度の余裕を持った予算確保が必要。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

工業団地の除草業務等について、人材確保ができず実施が滞ってしまう場面が見られた。引き続き関係機関と連携し、企業の皆さんが快適に事業を実施できるよう取り組んでいく。また商品展示会等も徐々に開催されるようになってきたので、出展企業等を積極的に支援する。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
各工業団地の環境整備等を行うと共に、補助金の支援により企業の競争力向上のための総合的支援を実施した。		工業団地等の環境の維持管理と、受注開拓や販路拡大など意欲ある企業への支援を継続する。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	村石 保
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3428
<b>事務事業名</b>	9953 産業連携事業											
<b>所 属</b>	150200 産業振興部・産業連携開発課											
<b>施 策</b>	06013000 強みを活かした新産業の創出											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	<b>事業</b>	040000 産業連携事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
産業の連携により意欲のある企業の研究開発や販路拡大などの支援を積極的に行うことにより、産業の活性化を図り、併せて産学官・産学・産産・産学官金の連携による新産業の創出を図る。						須坂市の産業構造を自律発展型産業構造へと変換していくため、産業コーディネート・アドバイス事業を実施し、意欲のある企業への積極的な支援により、産学官金連携による新産業創出や研究開発の推進、提案公募型の研究開発事業の導入と既存補助制度を活用した支援を行なった。 2020年度は「ものづくり補助金」などの申請書作成支援を行い、6件が採択されるなどの成果が出てきている。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
産業CO、ADによる設備導入、技術開発のための「ものづくり補助金」の導入支援を行った。須坂創成高校デュアルシステム協力企業と連携し、就業体験、企業実習の受入支援を行った。	産業CO、ADによる設備導入、技術開発のための「ものづくり補助金」「事業再構築補助金」の導入支援を8件行った。須坂創成高校デュアルシステム協力企業と連携し、就業体験、企業実習の受入支援を行った。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
産業CO、ADによる設備導入、技術開発のための「ものづくり補助金」「事業再構築補助金」の導入支援を行う。須坂創成高校デュアルシステム協力企業と連携し、就業体験、企業実習の受入支援を行う。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	提案公募型事業の導入件数					
算式	国、県等の提案公募型事業の導入件数				単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	3	3	3	3	
	実績	8				
指標選定の理由	地域活性化、企業の技術開発のための開発資金を国、県などの提案公募型事業、競争的資金などの外部資金を有効的に活用することにより産業の活性化および企業の技術開発支援を行う。					
最終年度目標の根拠	経済産業省、農林水産省の提案公募型事業の採択件数および企業向け技術開発等補助金「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」等の申請書作成支援を行った結果の採択件数。					
指標名	企業及び次世代技術者向け人材育成講座の企画・開催					
算式	講座開催回数				単位	回
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	8	8	8	8	
	実績	7				
指標選定の理由	企業の競争力向上のため、技術者、技能者の基礎知識、応用力を高めるための専門的技術、理論に関する講座を企画・開催する。一方で次世代技術者、小中学生向けものづくりに関する講座の企画・開催も行う。					
最終年度目標の根拠	企業ニーズに合った講座開催により、企業の競争力向上に寄与する。産業の活性化、高度化に向けて継続した支援するため。					
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		31,029	36,505
特定財源	国庫支出金	0	5,325
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,152	5,645
一般財源		20,877	25,535
人員数(人)	正規職員	1.6	1.1
	会計年度(フル)	0.8	0.0
	会計年度(パート)	0.0	1.2
人員コスト	正規職員	11,377.6	7,822.1
	会計年度(フル)	2,636.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	1,849.2
	計	14,013.6	9,671.3
市民一人当たりの経費		0.9	0.9
総額		45,042.6	46,176.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	40	謝礼40
10節 需用費	41	消耗品費41
12節 委託費	3,194	メーリングシステム保守管理38 地域研究開発促進支援事業200 花火打上げ業務委託2,830 警備業務委託125他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,914	産業フェアIN信州負担金1,448 須坂工業ブランド化事業100 信州須坂フルーツエール推進協議会負担金3,221 新技術・新製品開発事業960 他
その他	21,840	産業コーディネータ、アドバイザー報酬7,440、会計年度任用職員報酬3,267 旅費26 他

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	120	講師謝礼80 謝礼40
10節 需用費	45	消耗品費45
12節 委託費	3,631	専門家派遣事業委託料30、地域研究開発促進支援事業委託料600、マーケティングシステム保守管理委託料40 花火打上げ業務委託2,835 他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	11,617	産業フェアin信州平実行委員会金1,457、新技術・新製品開発事業補助金2,000 信州須坂フルーツエール推進協議会負担金7,650 他
その他	21,092	産業コーディネータ、アドバイザー報酬9,8400 会計年度任用職員報酬4,010 旅費473 農商工観共創支援貸付金5,000 他

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	産業コーディネート・アドバイス事業により、企業の新技術開発、販路開拓などにつながっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	産業の活性化、高度化に向けた講座を開催しており、企業の人材育成に貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	参加者から必要に応じて、負担金を徴収しており、今後も引き続き、適正な額の徴収に努める。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナウィルス感染の影響から、産業コーディネート・アドバイス事業は制約を受けた。今後は感染防止に努めるとともに、オンラインなどを活用しながら相談活動を実施していく。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
産業コーディネーター、産業アドバイザーを中心に企業の高度化、高付加価値化の取組みに対する支援を実施した。		産業コーディネーター、産業アドバイザーによる国の企業向け補助金の申請支援等により各種補助金を確保し、企業の収益増や新技術の開発支援に繋げる。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	原 和嘉
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3423
<b>事務事業名</b>	11714 企業立地推進事業						
<b>所 属</b>	150200 産業振興部・産業連携開発課						
<b>施 策</b>	06013000 強みを活かした新産業の創出						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	070102 商工費・商工費・商工業振興費					
	<b>事業</b>	050000 企業立地推進事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
企業を誘致し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることで、市財政の健全化や定住人口の増加に繋げる。				インター周辺開発に向け、庁内関係部署と連携を図りながら県及び関係省庁と農地調整等の課題解決を行う。また、特定地域の空き工場や、工業系未利用地への企業誘致を推進し、税収の確保と雇用の創出につながるよう取り組んでいる。 【ヒア補足】 ●本補助は税の減免を受けないことが前提である。現行の財源計画も税（減免）は試算段階の想定にない。 ●インター開発がらみの補助一覧表は現時点での想定。今後、がらみ関連の物流関係会社の追加も。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
○特定地域の空き工場や、工業系未利用地への企業誘致を推進する。 ○インター周辺開発計画を推進し、庁内関係課と連携し、土地利用調整計画を策定し、企業の地域経済牽引事業計画の策定支援を行う。	○特定地域の空き工場や、工業系未利用地を把握に努めた。 ○インター周辺開発計画を推進し、庁内関係課と連携し、土地利用調整計画を策定し、企業の地域経済牽引事業計画の策定支援を行った。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
○特定地域の空き工場や、工業系未利用地を把握し、立地希望企業のニーズに対応する。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	県営日滝原産業団地や工業系用途地域への累計立地企業数（新設の用地取得・建物設置、空き工場）						
算式	企業立地振興事業補助金などの累計交付件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績	5					
指標選定の理由	企業誘致を推進し地域経済の活性化や雇用の創出を図る						
最終年度目標の根拠	企業との商談及び情報収集の中で、今5後の経営方針や業績見通し、工場建物等の現状などから目標を設定						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		62,298	10,308
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		62,298	10,308
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,266.6	4,266.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,266.6	4,266.6
市民一人当たりの経費		1.3	0.3
総額		66,564.6	14,574.6

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	62,298	企業立地振興事業補助金62,218、(一財)日本立地センター研修会費80
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,109	企業立地振興事業補助金9,958、会議等出席負担金151
その他	199	産業立地実務研修会参加・普通旅費199

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	企業立地には多額な費用がかかるため、その一部を補助することで工場等の新設、増設等につながることは企業立地につながる多大な貢献といえる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	企業の立地、新設等に伴い、適切に交付した。これら補助事業により、企業の立地、増設等につながったものとする。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	要綱に沿って適切に交付した。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

企業活動に伴い事業費が増減する事業である。今後、須坂長野東インター周辺の開発が進むと大幅な支出が見込まれる。引き続き要綱に基づき適切に対応、交付していく。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
須坂長野東IC周辺の民間開発において、地域経済の活性化や雇用創出に向け、地域未来投資促進法の「土地利用調整計画」の承認、「地域経済牽引事業計画」等の申請支援を通して立地企業に対する総合的支援を実施した。		企業によるインター周辺開発及び開発計画を継続して支援していく。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	窪田潤一
	全体計画			経費区分	-	内線	3422
事務事業名	4175 勤労者研修センター管理事業						
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課						
施 策	06013100 雇用機会の充実と産業人材の育成						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	050101 労働費・労働諸費・勤労者研修センター費					
	事業	010000 勤労者研修センター管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
勤労者に良好な研修活動の場を提供することにより福祉の向上を図る。				勤労者に良好な研修活動の場を提供するため、第1勤労者研修センターは「連合長野高水地域協議会須高地区連合会」に指定管理者として管理を委託し、より一層の利用者サービス向上に努める。 効果として、指定管理を行うことで、利用者に寄り添ったより効率的で丁寧なきめの細かい施設運営ができる。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
1 指定管理委託（平成33年度以降指定管理者の選定） 2 修繕の実施 3 土地借上 駐車場用地として墨坂神社から借上げ（第1勤労者研修センター） 4 施設の貸出	1 指定管理委託（平成33年度以降指定管理者の選定） 2 修繕の実施 3 土地借上 駐車場用地として墨坂神社から借上げ（勤労者研修センター） 4 施設の貸出
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
1 指定管理委託（平成33年度以降指定管理者の選定） 2 修繕の実施 3 土地借上 駐車場用地として墨坂神社から借上げ（勤労者研修センター） 4 施設の貸出	1 指定管理委託（平成33年度以降指定管理者の選定） 2 修繕の実施 3 土地借上 駐車場用地として墨坂神社から借上げ（勤労者研修センター） 4 施設の貸出
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
1 指定管理委託（平成33年度以降指定管理者の選定） 2 修繕の実施 3 土地借上 駐車場用地として墨坂神社から借上げ（勤労者研修センター） 4 施設の貸出	1 指定管理委託（平成33年度以降指定管理者の選定） 2 修繕の実施 3 土地借上 駐車場用地として墨坂神社から借上げ（勤労者研修センター） 4 施設の貸出

指標名	勤労者研修センターの利用者数						
算式	施設の年間延利用者数					単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	10,000	10,000	10,000	10,000		
	実績	6,593					
指標選定の理由	施設の設置目的が、勤労者に研修活動の場を提供することであるため。						
最終年度目標の根拠	利用状況を検証したとき、年間延利用者数10,000人を確保することが妥当であるため。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		2,584	3,175
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	36	36
一般財源		2,548	3,139
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,422.2	1,422.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,006.2	4,597.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	20	修繕料 19
12節 委託費	1,955	指定管理者委託料 1,995
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	609	土地借上料(墨坂神社北側) 609

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	265	修繕料 265
12節 委託費	2,300	指定管理者委託料 2,300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	610	土地借上料 610

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市街地に立地する公の施設として、勤労者団体のほか社会教育の団体など広い分野の団体の活動の場ともなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	2021年度は、トイレ改修工事により1か月の休館、そのほか新型コロナウイルス感染拡大の防止措置のための2度の休館期間があり開館日数が令和元年（2019年 開館日数302日）と比較して70日少ない。また、令和元年利用者数／開館日数が38.2に対し、当年28.4と10ポイント低く利用者数も少ない。これはコロナの影響が大きいと思料され、数値の比較はできないと考える。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	D I Dが高い市街地に立地する公の施設として、利便性の高い優位性をいかし、ポストコロナと社会の多様性に対応できる施設として維持してまいりたい。また、施設及び設備の老朽化も進んでいるため、計画的に更新を行なえる持続可能性を検討してまいりたい。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

他の公の施設がそうであったように新型コロナウイルス感染拡大による計画的ではない休館により振り回された年であった。近隣の高齢者の利用者から利便性が高いとの評価も聞こえているため、ポストコロナの対応を指定管理者と検討していきたい。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>勤労者研修センターの運営において、指定管理者と連携して利用者へのサービス向上のため、効率的且つ丁寧な施設運営に努めた。</p>		<p>指定管理者により、利用者に寄り添ったきめ細やかな施設運営が図られた。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	窪田潤一
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3422
<b>事務事業名</b>	4178 勤労者福祉事業											
<b>所 属</b>	150200 産業振興部・産業連携開発課											
<b>施 策</b>	06013100 雇用機会の充実と産業人材の育成											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	050102 労働費・労働諸費・労働諸費										
	<b>事業</b>	020000 勤労者福祉事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
勤労者が生き生きと働き、実りある生活ができるよう、福祉の向上を図る。労働条件・労働環境を正しく把握し、勤労者福祉や雇用促進施策に反映させる。						勤労者生活資金の融資斡旋及び利子補給、中小企業退職金共済加入奨励補助、勤労者住宅建設資金融資利子補給等を実施し、勤労者福祉の増進を図る。 駅前自転車駐車場の管理について、関係機関と協力・連携をしながら整理に努める。自転車駐輪場の課題解決に向け、利用団体が連携して検討・活動をしている。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整

指標名	須坂市勤労者互助会の会員数						
算式	年度末の会員数で比較する					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	
	実績	1,360					
指標選定の理由	須坂市の勤労者の多くは中小企業で働く者であり、労働条件や福利厚生の中で大企業と格差があることから、中小企業の福利厚生を高め、福祉の向上につなげるため。						
最終年度目標の根拠	会員の入脱会が常にある中で、令和2年度に会員数1,460人を目標とした。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		128,164	130,661
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	111	0
	地方債	0	0
	その他	120,000	120,000
一般財源		8,053	10,661
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.8
人員コスト	正規職員	2,133.3	2,133.3
	会計年度(フル)	1,647.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	1,232.8
	計	3,780.8	3,366.1
市民一人当たりの経費		2.5	2.6
総額		131,944.8	134,027.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	355	消耗品42 光熱水費(電気料)135 修繕料177
12節 委託費	839	自転車駐車場管理委託516 シルバー人材センター委託322
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,900	補助金3,899
その他	123,070	報酬1,942 職員手当等319 共済費354 旅費26 役務費(郵便料等)187 備品購入240 貸付金 120,000

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	481	消耗品45 光熱水費(電気料)171 修繕料265
12節 委託費	979	自転車駐車場管理委託517 放置自転車処理運搬委託64 シルバー人材センター委託398
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,274	会議出席負担金4 各種補助金6,274
その他	122,927	報酬1,996 職員手当等407 共済費404 旅費27 役務費93 貸付金 120,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	勤労者の福利厚生や生活基盤の充実を図るための事業であり、目的実現のために企業支援の補助金や勤労者個人への協調融資や利子補給などは公共的施策として重要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	中小企業等の従業員の福利厚生を担う勤労者互助会の健全運営が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	勤労者互助会の事業の中で新型コロナ感染拡大により未実施のものがあつたため今後の事業内容の検討が必要である。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

新型コロナ感染拡大のため、現行の事業実施が困難になってきている。勤労者の福利厚生の充実を図るため公平で有効性の高い事業の実施を検討する時期にきている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>生活資金や住宅建設資金の融資斡旋及び利子補給等を実施するほか、駅前自転車駐車場の管理においては、関係機関と連携をしながら利便性の向上に努めるなど勤労者福祉の増進を図った。</p>		<p>勤労者生活資金の融資斡旋や利子補給等の実施により、勤労者の福利厚生や生活基盤の充実が図られた。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	窪田潤一
		全体計画						経費区分		-		内線	3422
事務事業名	4179 雇用促進事業												
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課												
施 策	06013100 雇用機会の充実と産業人材の育成												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	050102 労働費・労働諸費・労働諸費											
	事業	030000 雇用促進事業											
事業目的							事業概要・効果						
充実した生活の実現を目的に、雇用の確保をするとともに、働く意欲を持つ市民が、知識や経験を活かし希望する職業に就けることを支援する。							須坂市就業支援センターの運営 求職者を対象とした事業の実施 高校生を対象とした就業意識を醸成する事業の実施						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
1 就業相談関連事業、2 職業観の早期醸成支援事業、3 ゆめわーくサポートネットワークの開催、4 企業ガイドブックの作成、5 求人情報の提供、6 雇用促進・早期就労支援事業、7 障害者雇用促進奨励金 8 U I J ターン就業移住支援事業	1 就業相談関連事業、2 職業観の早期醸成支援事業、3 ゆめわーくサポートネットワークの開催、4 企業ガイドブックの作成、5 求人情報の提供、6 雇用促進・早期就労支援事業、7 障害者雇用促進奨励金 8 U I J ターン就業移住支援事業
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
1 就業相談関連事業、2 職業観の早期醸成支援事業、3 ゆめわーくサポートネットワークの開催、4 企業ガイドブックの作成、5 求人情報の提供、6 雇用促進・早期就労支援事業、7 障害者雇用促進奨励金 8 U I J ターン就業移住支援事業	1 就業相談関連事業、2 職業観の早期醸成支援事業、3 ゆめわーくサポートネットワークの開催、4 企業ガイドブックの作成、5 求人情報の提供、6 雇用促進・早期就労支援事業、7 障害者雇用促進奨励金 8 U I J ターン就業移住支援事業
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
1 就業相談関連事業、2 職業観の早期醸成支援事業、3 ゆめわーくサポートネットワークの開催、4 企業ガイドブックの作成、5 求人情報の提供、6 雇用促進・早期就労支援事業、7 障害者雇用促進奨励金 8 U I J ターン就業移住支援事業	1 就業相談関連事業、2 職業観の早期醸成支援事業、3 ゆめわーくサポートネットワークの開催、4 企業ガイドブックの作成、5 求人情報の提供、6 雇用促進・早期就労支援事業、7 障害者雇用促進奨励金 8 U I J ターン就業移住支援事業

指標名	就業支援センターの利用者が就職した割合				
算式	年間相談者に対する就職した方の割合				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	30	30	30	30
	実績	31.2			
指標選定の理由	就業支援センターの新規利用者数や延相談件数の増減は雇用情勢の変化の影響を強く受け、多いことが良いと限らない。そのため相談の質を高め、より多くの相談者を就職へと結び付けることを目標とする。				
最終年度目標の根拠	相談者の多くが就職困難者であり就職は容易ではないが、平成26年度実績が28.9%であるため30.0%まで向上させることを目標とする。				
指標名					
算式					単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		4,749	7,358
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	450	1,300
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,299	6,058
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.2	1.2
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,849.2	1,849.2
	計	3,271.4	3,271.4
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,020.4	10,629.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	30	講師謝礼30
10節 需用費	28	消耗品28
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,737	安定協会負担金50 企業がIT作成100 長野地域若者就職促進協議会負担金973 受講料13 U I J 移住支援金600
その他	2,954	報酬2,086 職員手当等347 共済費396 旅費27 通信運搬費(郵便料) 61 手数料1 使用料及び賃借料34

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	30	講師謝礼30
10節 需用費	52	消耗品費38 食糧費14
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,982	安定協会負担金50 企業がIT <sup>※</sup> 作成100 障害者雇用奨励金100 長野地域若者協議会負担金1,032 UIJ <sup>※</sup> 支援金2,600 地域就職奨学金補助金 100
その他	3,294	報酬2,176 職員手当等444 共済費439 旅費67 役務費72 使用料及び賃借料65 機器借上料35

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	就業支援センターの相談者数が2020年度93人から2021年度180人に増加している。内訳も20代が24人から102人と顕著に増えており、相談内容も多様化している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	公共職業安定所や関係団体と連携をして相談業務にあたっており多様化している相談者の課題解決にあたっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	新型コロナ感染拡大の際にも、相談業務は継続して実施し、オンラインでの相談体制の構築など工夫もおこなった。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

相談者数も増加傾向にあり、継続して事業実施が可能な体制を維持してまいりたい。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

就業相談や地域の高校に対する職業観醸成支援のほか、企業の求人に関する支援を行う一方で、企業の障害者雇用支援、UIJターン就業支援を積極的に実施した。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

就業支援センターの相談者数が増加傾向にあることから、公共職業安定所等と連携し、多様化している相談に丁寧な就業支援を行う必要がある。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	窪田潤一
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3422
<b>事務事業名</b>	5584 産業人材育成事業											
<b>所 属</b>	150200 産業振興部・産業連携開発課											
<b>施 策</b>	06013100 雇用機会の充実と産業人材の育成											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	050102 労働費・労働諸費・労働諸費										
	<b>事業</b>	040000 産業人材育成事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
次世代のものづくり産業を支える人材育成を行うために、各種講座の開催及び補助金等の支援を行う。						産業振興の基礎となる人材育成に主眼をおき、産学官の連携をとりながら、在職者訓練や職業能力開発、子どもたちにもものづくりへの興味を持ってもらうことを主眼に、各種講座の開催を引き続き進める。受講者の要望や資格取得、スキルアップが図れる講座の実施ができるよう充実を図っている。効果として、ものづくり産業の将来を考えたとき、地域に「ものづくり」ができる人材を多く育てることが必要であり、最先端の機械も使う人によって成果が異なる。機能を引き出せる優秀な人材の養成に結びつくことが期待される。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 OJT、OFF-JTを支援する補助金	1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金 4 OJT、OFF-JTを支援する補助金
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金 4 OJT、OFF-JTを支援する補助金	1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金 4 OJT、OFF-JTを支援する補助金
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金 4 OJT、OFF-JTを支援する補助金	1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金 4 OJT、OFF-JTを支援する補助金

指標名	産業人材育成研修への参加					
算式	各種講座への年間参加者数				単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	300				
	実績	144				
指標選定の理由	多くの産業人材を輩出するため。					
最終年度目標の根拠	産業人材を育成するために、500人の参加者数を確保したい。 なお、平成26年度から所管移行をした講座があるため目標を300人に変更した。					
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		2,287	3,949
特定財源	国庫支出金	0	1,108
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	238	365
一般財源		2,049	2,476
人員数(人)	正規職員	0.1	1.0
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.4
人員コスト	正規職員	711.1	7,111.0
	会計年度(フル)	329.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	616.4
	計	1,040.6	7,727.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		3,327.6	11,676.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	701	講師謝礼690 謝礼10
10節 需用費	222	消耗品費162 燃料費55 修繕料3
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,087	人材能力開発83 次世代産業人材育成支援104 技術情報センター指定管理者自主事業補助金900
その他	277	旅費43 使用料及び賃借料92 役務費(広告料・手数料)134 公課費6

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	950	講師謝礼950
10節 需用費	451	消耗品費300 燃料費90 印刷製本費50 修繕料11
12節 委託費	60	映像制作委託料60
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,220	人材能力開発120 人材育成100 次世代人材育成200 技術情報センター指定管理者自主事業補助金1,800
その他	268	講師旅費101 役務費（広告料・手数料）74 使用料及び賃借料93

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市内中小企業等における技術者の育成、先進企業等の取り組みを学ぶ機会を創出している。また将来のものづくり人材育成のため、小中学生時からのものづくりの楽しさを学ぶ場を提供しており、次世代のものづくり人材育成のための有効な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	コロナ禍もあり、募集人数を減らして実施したため、参加人数は限られた数となった。参加した企業からは、職歴の浅い社員にとって有意義な研修であった、との声も聞かれた。中小企業等にとっては、自社のみでの研修会の開催はハードルが高いため、各種講座の開催は大変有効なものとする。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	先進地視察、各講座については、一部参加者から費用を負担していただいている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍もあり、参加人数を減らして実施した講座や、感染拡大により中止した講座等があり、予定とおり講座は実施できなかった。引き続き感染対策に万全を期しながら各講座を実施していきたい。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>長野高専、ポリテク長野等支援機関と連携し、技術者や技能者向けの各種講座を実施し、将来の産業人材の育成に向けては小中学生を対象に「ものづくり体験講座」を実施した。</p>		<p>企業が求める産業人材の育成を行うため、各種講座を継続して開催していく必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	窪田潤一
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3422
<b>事務事業名</b>	6146 技術情報センター管理運営事業										
<b>所 属</b>	150200 産業振興部・産業連携開発課										
<b>施 策</b>	06013100 雇用機会の充実と産業人材の育成										
<b>会計</b>	01 一般会計										
<b>科目</b>	050103 労働費・労働諸費・技術情報センター費										
<b>事業</b>	010000 技術情報センター管理運営事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
市民と企業ニーズに対応した人材育成を図る。						平成27年度から指定管理者制度を引き続き行い、産業支援・人材育成・行政情報の管理機能を有するセンターを適正に管理運営し、利用者が快適に利用できる環境を整える。効果として、市民のITスキルアップと企業ニーズに対応した人材育成の拠点となることが期待される。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
1 指定管理者制度の実施 2 施設の貸出	1 指定管理者制度の実施 2 施設の貸出
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
1 指定管理者制度の実施 2 施設の貸出	1 指定管理者制度の実施 2 施設の貸出
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
1 指定管理者制度の実施 2 施設の貸出	1 指定管理者制度の実施 2 施設の貸出

指標名	技術情報センターの年間延利用者数				
算式	年間延利用者数				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	7,000	7,000	7,000	7,000
	実績	6,450			
指標選定の理由	施設の目的がIT機器を利用した産業支援、テレワーカー等情報技術を活用できる人材の育成、産業人材の育成及び各種行政情報を発信する市民サービス等の提供であるため。				
最終年度目標の根拠	施設の現状を検証する中で年間延利用者数7,000人を確保したい。				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		13,065	12,765
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		13,065	12,765
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,422.2	711.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,487.2	13,476.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	565	修繕料565
12節 委託費	12,500	指定管理者委託料12,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	265	修繕料265
12節 委託費	12,500	指定管理者委託料12,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、制約のある中で自主事業を実施、特に中学生を対象に科学への興味を深める事業は評価が高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインを活用した取組みで可能な限り事業を実施している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	固定的な費用の削減については限界がある。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の特徴である技術や科学に関する自主事業の取組は評価できる。公の施設の貸館事業とあわせより充実した内容を期待する。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

指定管理者制度によりセンターの適正管理・運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

指定管理者制度により、施設の適正な管理運営を継続する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--